

# LIBRARY NEWS 北陵

2022年12月 図書館だより 第3号



## ◆2022年第3号発行について

十月中旬、私は本年度『塞王の楯』で直木賞を受賞された今村 翔吾氏の講演を聞く機会がありました。講演の中で、「自分が小説家になった一番大きなきっかけは、母親に買ってもらった池波正太郎先生の『真田太平記』全巻を読んだことにある。」と言われていました。

一冊の本が、一つの作品が人生を導くこともあるのです。文学に限らず、歴史、社会、科学、芸術、スポーツ等いろいろな分野の中で、必ずやあなたの心を揺り動かす本があるはずです。そのような本との出会いを求めてください。川西北陵高校の図書室もそんなあなたを待っています。(図書担当：藤原 茂洋)

## ◆令和4年後期図書委員長 川野 翔(2年2組)挨拶

後期図書委員長を務めさせていただくことになりました、川野翔です。皆さんは普段図書室を利用していますか？インターネットが発達した現在では本を読む機会が減っていると思います。実際最近の利用者は少なめです。本を読めば読解力や知識を得られ、文章を読み解く速度が上がって、テストなどでも有利になると思います。スマホばかりでなく、静かな図書室で気になる本を読んだり、期末テストや模試前集中して勉強に取り組みたいと思う人は是非利用してみてください。

## ◆令和4年度後期副委員長 岡部 風香(1年6組)挨拶

後期副委員長になりました岡部風香です。1年生で、まだ慣れないこともたくさんあります。しかし、北陵高校の図書室をより良いものにできるように頑張りますのでこれからよろしくお祈いします。最近、気温が低い日も多いですね。そんな日には、図書室で勉強をしたり、本を読んだりしてゆっくと過ごしてみてもいいでしょうか。新しい本も入荷されましたので、是非立ち寄ってみてください。

## 雑誌コーナー充実

本校図書室では、Number(スポーツ雑誌)、Newton(科学雑誌)、ダ・ヴィンチ(エンタメ雑誌)3種類が閲覧できます。

新刊が出たら、すぐに展示できるようになりました。バック・ナンバーもあります。いずれの雑誌も今話題のテーマが取り上げられていて、写真も豊富なのでぜひ見に来てください。(藤原 茂洋)

本の紹介 本年度後期購入図書から3冊を紹介します。

## ◆『塞王の楯』今村翔吾著



どんな攻めをも、はね返す石垣。どんな守りをも、打ち破る鉄砲。「最強の楯」と「至高の矛」の対決を描く、究極の戦国小説！

匡介は源齋を頭目とする穴太衆(あのをしゅう)(=石垣作りの職人集団)の飛田屋で育てられ、やがて後継者と目されるようになる。匡介は絶対に破られない「最強の楯」である石垣を作れば、戦を無くせると考えていた。両親や妹のような人をこれ以上出したくないと願い、石積みの技を磨き続ける。

## ◆『東京藝 大仏さま研究室』樹原アンミツ著



2浪、3浪は当たり前、時には10浪以上の学生も……パンダと桜で賑わう上野公園に隣接する東京藝術大学。通っている学生も教授も少し変わった人ばかり。そんな東京藝大で、仏像の保存について研究する通称「仏さま研究室」の修了課題は、なかなか過酷で学生泣かせだ。様々な思いを抱え、真心を込めながらも、「模刻」に悪戦苦闘する学生たちを描く、クスッと笑えてグッとくる青春ストーリー。

## ◆『桂かい枝のLet's 英語落語!』桂かい枝著



「英語落語」をやってみよう！ そんな人のために、かい枝師匠がコツを教えます。2題の英語落語「動物園」「松山鏡」の台本に沿って、「ここがポイント！」となるところを、わかりやすく解説していきます。

《編集後記》・・・・・・・・・・・・・・・・

本年度後期購入図書は、上記3冊以外にもたくさんあります。現在展示準備中です。なお、冬季休業直前は一人5冊まで本を借りることができます。返却日は1/10(火)始業式の日です。奮って本を読んでください。(藤原茂洋)